

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-1 保健	担当課
施策の展開方向	① 医療機関との連携強化 ●保健・福祉・医療の連携体制を強化します。 ●子どもたちが健やかに育つよう、乳幼児健診の受診を促進します。	健康推進課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
乳児健診受診率【%】	○	95.5 対前年増減→	92.9 -2.6	98.0 +5.1	100.0 +2.0	97.8 -2.2			100
幼児健診受診率【%】	○	89.7 対前年増減→	87.9 -1.8	93.8 +5.9	95.3 +1.5	97.1 +1.8			100
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 医療機関との連携強化 【取組の概要（背景・目的等）】 医師会・歯科医師会と連携し、円滑に乳幼児健診・各種検診・予防接種事業を推進します。また、地域と保健医療福祉の連携を強化します。 【実施内容・成果（R06）】 定例の医師会会議（年1回）を3月に実施し、上牧町の保健事業に係る実績報告や次年度に向けての取り組みについて、医師会と情報共有を行いました。歯科保健会議（年1回）については、令和5年度に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、対面での開催を再開しました。令和6年度は書面で報告を行っていますが、各医療機関と連携ができたと考えます。 【事業費（決算額：R06）】 ・町医報酬：725千円	A	【評価の理由・根拠】 医師会・歯科医師会など関係機関と連携を図りながら、乳幼児健診・各種検診・予防接種などの実施及び医師会との会議を実施できました。そのため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 引き続き、医師会・歯科医師会など関係機関と連携を図りながら、乳幼児健診・各種検診などを実施します。また、歯科医師会との会議を対面で実施できるように調整していきます。 上牧町第2次健康増進計画・食育推進計画については、令和7年度の評価を実施し、さらなる住民の健康維持・増進および健康寿命の延伸に向けて取り組みます。
取組② 乳幼児健診受診の促進 【取組の概要（背景・目的等）】 乳幼児期における身体発育及び精神発達の健全な育成のため、健康診査を実施し、異常の早期発見・予防をします。 【実施内容・成果（R06）】 乳幼児健診については、3・10か月健診：10回、1歳8か月健診：5回、2歳児歯科検診：4回、3歳児健診：5回、を予定通り実施しました。混雑緩和のため、案内時間を区切って数組ずつ案内しています。諸事情で未受診となったかたについては、来所や訪問で現認しています。 2歳児歯科検診においては、令和5年度よりフッ素塗布とブラッシング指導を再開しています。歯垢染色は飛沫による感染リスクが高いため、コロナ禍以降中止している状況です。 【事業費（決算額：R06）】 ・乳児健診事業：453千円 ・幼児健診事業：703千円 ・母子歯科保健事業：96千円	A	【評価の理由・根拠】 いずれの乳幼児健診も安全に実施できました。また、健診の受診率は95%以上で、未受診者についても確実な把握に努めています。そのため、評価をAとしています。（※KPIについては、検診日当日に受診できた子どもの受診率を表しており、検診日当日に受診できなかった子どもについては後日2000年会館への来所や自宅訪問により子どもの様子を確認できているため、未把握者はなし。） 【今後の取組方針】 医師会や歯科医師会と連携を図りながら、円滑に乳幼児健診を実施していきます。令和7年度は、対象者が多く、待ち時間短縮のため、1歳8か月健診と3歳児健診ともに実施回数を6回に増やす予定です。2歳児歯科検診の内容については、今後も歯科医師会と協議していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-1 保健	担当課
	② 「健康上牧21計画」の推進	健康推進課
施策の展開方向	●町民のアイデアを取り入れ、参加型の健康づくり計画「健康上牧21計画」の遂行を通し、元気の増進、疾病予防、医療費の安定化、さらには総合的なまちづくりへと推進していきます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
「健康上牧21計画」の事業の参加者数（年間）【人】	-	88 対前年増減→	14 -74	45 +31	104 +59	325 +221			700
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 「健康上牧21計画」の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 平成18年度より3グループに分かれ、「健康上牧21計画」に基づき健康寿命の延伸を究極の目標としてサブテーマは「夢とコミュニケーション いっぱいの上牧町」を目指し住民と協働し子どもから高齢者までの幅広い世代の健康増進に取り組みます。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度から2グループ体制（子どもグループ、おとなグループ）に再編成し、従来の取組を整理して活動を行いました。子どもグループはサロンを2回実施し、打合せのための実行委員会を7回開催しました。大人グループはささゆりウォークを1回、講演会を1回開催し、打合せのための実行委員会を3回、ウォーキングコースの下見を1回実施しました。上記の活動により、実績が増加しました。また、活動に伴い周知のためのチラシなどで新たな委員の募集を実施しました。 第二次健康増進計画・食育推進計画は、令和3年度に中間評価を実施し、後期計画を推進しています。令和6年度については「上牧町民健康づくり推進協議会」は開催しませんでした。アンケート調査の結果を踏まえ、食育推進のために減塩・野菜摂取・バランス食について広報や給食だよりに掲載、各種教室、スーパーで普及活動を実施し、食育推進計画の目標設定の参考にしました。 【事業費（決算額：R06）】 ・健康上牧21事業：63千円	A	【評価の理由・根拠】 グループの再編成をして事業の整理を図り、コロナ禍が落ち着いたこともあり、参加者が増加したため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 コロナ禍が落ち着いたことで参加者の増加には繋がっているものの、ボランティア委員の高齢化により、活動できるかたの減少がみられています。委員の募集を継続的にしているものの、なかなか増員には繋がっていないのが現状です。現状を維持できるように、委員の住民とともに活動方法などの検討を行っていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-1 保健	担当課
	③ マンパワーの確保と人材発掘・育成	健康推進課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●保健師、管理栄養士等、専門的人材の育成と確保を図ります。 ●「健康上牧21計画」の推進にあたって地域での人材育成を図ります。 ●高齢者や障がい者の地域での生活を支援するため、地域での生活相談、疾病相談などに対応できるように専門職等の配置や関係機関との連携を図ります。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
「健康上牧21計画」の実行委員の活動人数（年間）【人】	-	142	30	82	156	126			260
		対前年増減→	-112	+52	+74	-30			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 人材の発掘・確保・育成 【取組の概要（背景・目的等）】 住民と協働し、子どもから高齢者までの幅広い世代の健康増進に取り組み、健康寿命を延ばします。 【実施内容・成果（R06）】 「健康上牧21計画」は新型コロナウイルスで活動自粛をしていましたが、コロナ禍も明けて体制を立て直して活動を開始しました。3グループから2グループ（子どもグループ、おとなグループ）に編成し活動を実施しました。子どもグループは2回のサロンの実施、おとなグループはささゆりウオーク1回、講演会1回を実施できました。食生活改善推進委員の活動は定例会12回、親子料理教室1回、男性料理教室1回、骨太クッキング1回、シニアカフェ1回、歩こう会7回、ペガサスフェスタ1回、食生活推進役員会5回を実施しました。活動回数合計は30回（延べ524人）です。 【事業費（決算額：R06）】 ・食生活改善推進事業（委員謝礼）：90千円	A	【評価の理由・根拠】 人員不足から実施できない事業（がん予防推進員）がありましたが、「健康上牧21計画」はコロナ禍が明けて従来に近い形で取り組みました。食生活改善推進員についても従来通り実施できています。そのため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 コロナ禍が落ち着いたことで参加者の増加には繋がっているものの、健康上牧21計画についてはボランティア委員の高齢化により、活動できるかたの減少がみられています。委員の募集を継続的にしているものの、なかなか増員には繋がっていないのが現状です。現状を維持できるように、委員の住民とともに活動方法等の検討を行っていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉
令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-1 保健	担当課
	④ 保健事業の充実	健康推進課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●健康教育、相談、検診機会の充実に努めるとともに、がん予防推進員の養成とフォローアップの研修を実施し、町が活動に対しての支援をしながら受診率の向上を目指します。 ●健康教室の「ヘルシー教室」を通じて病気に対する知識の普及啓発を図り、自らできる予防策を実践できるように支援します。 ●日常生活におけるきめ細かな健康づくりの情報を広報紙等で啓発していきます。 ●幼稚園・保育所を対象に食育の推進を図ります。 ●乳幼児から高齢者まで疾病予防や食に関する情報の啓発、相談できる窓口の充実を図ります。 ●域内すべての子ども一人ひとりの教育的ニーズに応えるため、就学前段階において特別な支援を必要とする子どもへの支援を行います。 ●1歳8か月児健診、3歳児健診、乳幼児相談などで、精神面におけるフォローの必要な子どもを対象として、臨床心理士の指導により、幼児の健全な発達を促すとともに、保護者の不安を軽減するためのフォローを実施します。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
胃がん検診受診率【%】	-	4.1 対前年増減→	2.7 -1.4	2.4 -0.3	2.2 -0.2	2.2 +0.0			5.0
子宮がん検診受診率【%】	-	9.2 対前年増減→	9.9 +0.7	8.9 -1.0	8.0 -0.9	8.1 +0.1			10.8
大腸がん検診受診率【%】	-	4.6 対前年増減→	4.9 +0.3	5.2 +0.3	4.9 -0.3	4.8 -0.1			6.7
乳がん検診受診率【%】	-	12.7 対前年増減→	13.3 +0.6	13.5 +0.2	11.8 -1.7	12.4 +0.6			14.5
肺がん検診受診率【%】	-	3.4 対前年増減→	4.0 +0.6	4.0 ±0	3.5 -0.5	4.1 +0.6			5.3
ほほ笑み教室利用者満足度【5段階評価】	○	4.7 対前年増減→	4.6 -0.1	4.8 +0.2	4.6 -0.2	4.6 ±0			4以上

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 受診率向上に向けた情報発信・がん予防推進員の養成 【取組の概要（背景・目的等）】 がん検診の受診を促進し、がんの早期発見につなげ、がんによる死亡者の減少を図ります。 【実施内容・成果（R06）】 住民保険課と合同で、けんしんGOポイント事業を実施し、受診率の向上を図りました。 令和6年度の集団健（検）診は年8日実施し、特定健診とがん検診の同時実施日、レディースデイを設定し集団健（検）診受診者の利便性の向上に努めました。 【事業費（決算額：R06）】 ・けんしんGO！ポイント事業：230千円	A	【評価の理由・根拠】 がん検診受診率はすべての検診で横ばいまたは増加傾向にあり、受診率の向上に向けたがん検診の実施方法が有効なものであったと考えられるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 けんしんGOポイントのポイント付与事業を増やし、事業の活性化を図ることによってがん検診の受診率向上につなげます。 乳がん個別検診・胃内視鏡検診の検診委託先について、より住民が受診しやすい病院を選択できるよう見直します。 また、がん検診受診の意義について住民に普及できるようにがん予防推進員の活動を検討します。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組② 受診対象者への個人通知等のアプローチの推進		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 がん検診において、一定の年齢の者に個別の受診勧奨を実施するとともに、そのうち未受診者に再勧奨を実施することにより、検診受診の動機付けを行い、がん検診の受診を促進することでがんの早期発見につなげ、がんによる死亡者の減少を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 子宮頸がん・乳がん検診前には、はがきによる個別受診勧奨・リコール（再勧奨）を行いました。また、大腸がん検診に対しては5歳刻みの個別受診勧奨を実施しました。そのほかにも、LINEやHPでがん検診の周知・勧奨を行い、予約方法の利便性向上のためLOGOフォームを使用したネット予約システムの構築を行いました。その結果、がん検診の受診率はすべての検診で横ばいまたは増加しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・がん検診事業：9,667千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 従来の受診勧奨方法に加えて、ネット予約を開始したり、SNSを通じたがん検診の周知・勧奨の充実を図ったことが受診率の向上につながったと考えられるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き乳がん・子宮頸がん検診開始前に、はがきによる個別受診勧奨を実施しますが、より受診の動機付けとなるようはがきの内容を工夫します。令和7年度に41歳になるかたに乳がん検診の無料クーポン券を、21歳になるかたに子宮頸がん検診の無料クーポン券を発行します。 大腸がん検診に関しては、40～60歳の5歳刻みのかたに個別受診勧奨と再勧奨を行います。 また、令和7年度はがん予防推進員と共同の啓発活動も予定しており、検診受診率の上昇に向けて取り組みます。</p>
取組③ ハルシー教室の充実		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 生活習慣病及びその合併症を予防することを目的に、運動実践や食事に関する学習をし、健康に良い生活習慣の維持、必要な生活習慣の改善につなげます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は教室の開催はできませんでしたが、訪問や地域の健康教室に出向き、健康講座や健康相談を実施しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	B	<p>【評価の理由・根拠】 マンパワー不足のため教室を開催できていない、再開の目途がたっていないため、評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後、教室を開催していく上で、スタッフの増員及び育成が課題と考えます。スタッフの育成を図り、地域に密着した通いの場に出向き、健康相談や健康講座を実施します。</p>
取組④ 乳幼児健診後の支援の充実		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 乳幼児期において、身体発育及び精神発達面の異常の早期発見・予防を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 健診後、精神的・身体的にフォローが必要な対象児に対し、地区担当保健師から電話・面会での支援を実施しました。 電話・面会后、町内の保育園など就園先への現認において、継続支援が必要と判断した児に対しては他職種と連携を図り成長・発達の支援をしています。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 健診後のフォローは確実に実施できており、就園先の保育園などへの現認の機会を通して多角的に評価することができていると考えられるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も乳幼児健診の結果から、対象児への電話・面会・保育園での現認などで保健師及び他職種と連携を図りながら継続支援を実施していきます。</p>
取組⑤ 成人期から高齢期までの健康づくりの支援の充実		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 健康寿命の延伸の一助として、健康に関する意識や関心を高めてもらうために、健康的な生活習慣の定着を支援します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 毎月、広報の元気講座にて各種健康づくりについて情報を掲載しました。毎月健康相談を実施し、健康に関する個別支援を実施しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 健康に関する話題に興味を持ってもらえるよう元気講座は季節性や話題性を考慮した内容を掲載しました。健康相談は広報にお知らせを掲載するほか、窓口で相談に来られたかたを健康相談につないだり、広く相談者を募りました。そのため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 健康寿命の延伸の一助として、住民の健康への関心を向上するため、引き続き健康相談や元気講座の広報への掲載を行います。</p>

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組⑥ ほほ笑い教室の開催</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 保育園や幼稚園で集団活動が苦手な幼児に対して、個々の成長に合わせ、心身の発達や社会性を促す療育プログラムを実施し、保護者の子育て支援を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 ほほ笑い教室参加者の保護者を対象に、療育支援教室の評価とアンケートを実施しました。利用者満足度を7項目に調整し5段階評価にて行い、利用されている幼児と保護者の充実感がうかがえました。参加人数は13名でした。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・ほほ笑い教室事業：1,712千円</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 ほほ笑い教室参加者や保護者のニーズに沿って教室のプログラムや保護者の支援を行ったことで、参加者や保護者にとって満足度が高かったと考えられるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も個々の成長に合わせ、心身の発達や社会性を促す療育プログラムを実施し、保護者の子育て支援も行います。支援が必要な幼児が少しでも早期に通級などの支援に至るよう、細やかな相談を行い、関係機関との連携をはかります。</p>
<p>取組⑦ つくしっこ教室の開催</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 幼児健康診査や発達相談の結果、発達について継続的な指導や経過観察が必要とされた幼児の発達を把握し、教室の中で幼児の成長、発達を援助します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 つくしっこ教室は、主に1歳8か月児健診の結果、精神的・情緒的な支援が必要な母子に対し、少人数できめ細かい幼児の発達を促すプログラムを合計14回実施しました。保護者からは「子どもの成長を共有できてよかった」「保護者同士の交流の場になってよかった」との声がありました。参加人数は前期5名、後期5名でした。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・つくしっこ教室事業：307千円</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 教室を開催する度に実施内容や方法が参加者に適しているか評価し、次回の教室に生かしており、参加者や保護者にとって満足度が高かったと考えられるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 個々の特性を踏まえた教室内容を他職種と連携しながら発達の支援を行っていきます。 また、保護者の悩みや不安を共有し教室に反映できるよう取り組みます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-1 保健	担当課
	⑤ 保健予防活動の充実	住民保険課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣病等の発症と重症化を予防するため、データヘルス計画に基づき、特定健診・特定保健指導等の保健予防活動の充実を図ります。 ●対象者の特性にあわせた受診勧奨を行うことで、特定健診の受診率向上に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
特定健康診査受診率【%】	-	36.6 対前年増減→	37.8 +1.2	38.9 +1.1	39.3 +0.4	40.2 +0.9			42.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
取組① 特定健診の受診勧奨 <p>【取組の概要（背景・目的等）】 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、40歳から74歳の加入者を対象に特定健診を実施し、糖尿病などの生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的としています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 特定健診未受診者のうち、特定健診を毎年度受診している加入者を外し、新規で受診する加入者を含めて、電話勧奨及び訪問勧奨を実施しました。 また、住民とのトラブルを避けるために、事前に通知文を送付し、健康教育にも対応出来るように管理栄養士などの専門職が受診勧奨を実施しました。 特定健診未受診対象者455人に対して245人に受診勧奨を実施し、電話及び訪問勧奨時に健診の必要性、健康教育を実施し、健康意識の改善が図れました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・国保ヘルスアップ事業：5,575千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 特定健診未受診者に、電話勧奨及び訪問勧奨を行い、健康意識の改善を図ることができたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 令和7年度も引き続き受診勧奨の通知文を作成し、年2回に分けて送付し、併せて電話勧奨及び訪問勧奨も実施していきます。 また、訪問による健康教育は、直接対象者に実施できるため、今後も継続して実施していきます。</p>	-
取組② 特定保健指導の利用促進 <p>【取組の概要（背景・目的等）】 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、40歳から74歳の加入者を対象に特定保健指導を実施し、糖尿病などの生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的としています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和5年度に特定保健指導の初回面談を利用していない加入者、令和6年度に特定保健指導を利用していない加入者に対して実施しました。 また、利用勧奨対象者には、事前に訪問する旨の通知文を送付し、地域の巡回訪問を勧奨不要者以外の加入者に実施しました。 特定保健指導未利用対象者77人に対して38人に初回面談の勧奨を実施しました。また、地域を何度も巡回し休日にも訪問したことで成果があらわれました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・国保ヘルスアップ事業：5,575千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 特定保健指導未利用者に、巡回訪問などを実施し、初回面談の勧奨を行ったことから、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 令和7年度も引き続き、上牧町の生活習慣病の重症化を示したリーフレットを配布し、保健指導を活用して生活習慣の改善を図ることの重要性を広く周知することで、健康意識の向上につなげていきます。 また、勧奨の開始時期を早め、留守宅への訪問回数も増やし更なる保健指導実施率の向上を図ります。</p>	-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-2 医療	担当課
施策の展開方向	① 国民健康保険事業の円滑で安定的な運営 ●国民健康保険等の被保険者が安心して医療を受けられるよう制度改革などにも的確に対応した円滑で安定的な事業運営を行います。	住民保険課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
人間ドック・脳ドック受診率【%】	-	12.0 対前年増減→	11.6 -0.4	13.3 +1.7	13.3 ±0	14.6 +1.3			15.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 国民健康保険制度の運営・保健事業の実施 <p>【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町国民健康保険条例（昭和35年10月条例第7号）に基づき、国民健康保険事業の健全な運営を確保し、保健事業の向上に寄与することを目的としています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和7年4月1日施行の、国保加入者における保険税の軽減判定基準額及び賦課限度額の変更に係る上牧町国民健康保険税条例の一部改正を行いました。 令和6年12月2日からマイナンバーカードと健康保険証が一体化となったことにより、資格確認書などの発行事務を実施しました。 また、医療費の適正化として、国保連合会との共同事業において「糖尿病性腎症重症化予防」「重複投薬・多剤投薬・併用禁忌投薬対策事業」「レッドカード事業」「歯科受診勧奨推進事業」「健康づくりインセンティブ事業」を実施しました。 上牧町独自の事業としては、平成29年から健康推進課と共同で「けんしんGO！ポイント事業」を引き続き実施しました。 また、人間ドックなどに関しても引き続き受診に要した費用の助成を行い、被保険者の疾病の早期発見及び成人病の予防など健康の保持増進を図りました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・特定健康診査事業：13,559千円 ・人間ドック等助成事業：15,916千円 ・けんしんGO！ポイント事業：265千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 国民健康保険事業の制度改革などにも的確に対応しました。また保健事業では、共同事業及び町独自の事業を実施し、健康の保持増進を図ったことから、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 令和8年度から子ども・子育て支援金制度の創設に伴いシステム改修及び条例改正などの準備を進めていきます。 また、令和7年度も引き続き、特例措置として人間ドックなどの助成金の上限を40,000円及び特定健康診査の自己負担金（500円）の免除を実施します。</p>
取組② 福祉医療費助成制度の充実 <p>【取組の概要（背景・目的等）】 福祉医療制度は、受給者の健康の保持及び福祉の推進を図ることを目的としています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 福祉医療費（心身障害者医療費・乳幼児等医療費・ひとり親家庭等医療費・重度心身障害老人等医療費）受給者に対し医療費の一部を助成しました。 令和6年8月診療分から現物給付方式の対象者を18歳に達する日以後の最初の3月31日までにある者に拡大しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・福祉医療費助成事業：116,975千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 広報などで周知を行い、対象者への対応を行ったため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、受給資格者の心身と健康の保持及び福祉の増進を図っていきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉
令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-2 医療	担当課
	② 後期高齢者医療制度の適正な運営	住民保険課
施策の展開方向	●高齢者に対する医療の確保と適切な保険給付を行うため、後期高齢者医療制度の円滑で安定的な運営に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
高齢者の健康診査の受診率	-	23.0	23.7	24.1	25.4	27.5			30.0
		対前年増減→	+0.7	+0.4	+1.3	+2.1			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)																				
取組① 後期高齢者医療制度の運営 【取組の概要（背景・目的等）】 長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の運営は、奈良県内のすべての市町村が加入する「奈良県後期高齢者医療広域連合」が行います。広域連合では、保険料の決定や医療給付などを行い、市町村では各種申請の受付などの窓口業務や保険料徴収を行います。 【実施内容・成果（R06）】 奈良県後期高齢者医療広域連合規約（平成19年3月奈良県指令市町村第1118号）第4条に定める事務においては、スピード感をもって事務を執り行いました。 後期高齢者医療と介護保険の両方の自己負担額を合算して年間の限度額を超えた分を支給する「高額介護合算療養費等支給申請書兼自己負担額証明書交付申請書」の事務処理などを行いました。 令和6年12月2日からマイナンバーカードと被保険者証が一体化となったことにより、資格確認書などの発行事務を実施しました。 【事業費（決算額：R06）】 ・後期高齢者医療広域連合運営事業：486,406千円	A	総合戦略 - 【評価の理由・根拠】 制度改革にも的確に対応しました。また、広域連合とも連携をし、事務を円滑に進めることができたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 令和8年度から子ども・子育て支援金制度の創設に伴いシステム改修の準備を進めていきます。 今後も引き続き、広域連合と連携をとりながら後期高齢者医療制度に関する事務を執り行っていく予定です。																				
取組② 後期高齢者医療保険の保健事業の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 後期高齢者医療制度での保健事業は、高齢者の医療の確保に関する法律第125条及び奈良県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例第3条の規定に基づき、被保険者の健康増進などのために実施をしています。 【実施内容・成果（R06）】 後期高齢者医療制度の被保険者を対象として、疾病を早期発見し、必要に応じて治療を受けていただくために、広域連合からの委託により健康診査を実施しました。 上牧町独自としては、従来通りの個別健診、健康推進課と合同での集団健診、人間ドックなどにより受診率の向上につなげました。 <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>受診対象者</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>3,346人</td> <td>793人</td> <td>23.7%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>3,481人</td> <td>838人</td> <td>24.1%</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>3,738人</td> <td>950人</td> <td>25.4%</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>3,898人</td> <td>1,073人</td> <td>27.5%</td> </tr> </table> 【事業費（決算額：R06）】 ・保健事業：13,894千円	年度	受診対象者	受診者数	受診率	令和3年度	3,346人	793人	23.7%	令和4年度	3,481人	838人	24.1%	令和5年度	3,738人	950人	25.4%	令和6年度	3,898人	1,073人	27.5%	A	総合戦略 - 【評価の理由・根拠】 広域連合と共同で健康診査を実施しました。また町独自としては、人間ドックなどにより受診率の向上につなげることができたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も後期高齢者医療制度へ加入される被保険者数の増加が見込まれますので、引き続き、広域連合と共同で健康診査を実施していきます。
年度	受診対象者	受診者数	受診率																			
令和3年度	3,346人	793人	23.7%																			
令和4年度	3,481人	838人	24.1%																			
令和5年度	3,738人	950人	25.4%																			
令和6年度	3,898人	1,073人	27.5%																			

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組③ 後期高齢者医療制度や保健事業の広報・周知		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 後期高齢者医療制度とは、老人等医療費を中心に国民医療費が増大するなか、国民皆保険制度を将来にわたり持続可能なものとし、高齢者世代と現役世代の費用負担が公平で分かりやすい制度とするため、平成20年度から「後期高齢者医療制度」が運用開始されました。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 広域連合が実施している、後期高齢者口腔健診「お口の健康診査」、後期高齢者健康診査及び上牧町独自の人間ドックなどの案内を広報及びホームページに掲載しました。 また、住民保険課の窓口などでは、啓発物品の「健康長寿カレンダー」「健康長寿クリアファイル」を活用して、周知を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 広報やホームページで健診などの周知を行い、受診率の向上につなげることができたことから、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 令和7年度も引き続き、健康診査や人間ドックなどの案内を広報及びホームページなどで周知を行います。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-2 医療	担当課
	③ 不妊・不育症治療支援	健康推進課
施策の展開方向	●不妊治療は長期的に継続して取り組む必要があり経済的な負担も大きいので、不妊治療助成制度の利用促進を図ります。 ●妊娠はするものの、流産、死産や新生児死亡などを繰り返して結果的に子どもを持ってない不育症に対しても不育症治療助成制度の利用促進を図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
不妊・不育症治療助成事業認知度（よく知っている、名前だけ知っている人の割合）【%】	○	53.6 対前年増減→	50.4 -3.2	43.5 -6.9	50.0 +6.5	44.9 -5.1			100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 不妊・不育症治療助成制度の周知・啓発 【取組の概要（背景・目的等）】 不妊治療または不育治療を受けている夫婦に対して、経済的及び精神的負担の軽減を図り、少子化対策の推進に寄与することを目的としています。 【実施内容・成果（R06）】 制度の認知度向上のため、年2回広報へ記事を掲載し、近隣の産婦人科へチラシを配布しました。令和5年度からは就学前までの子どもがいる転入者へ不妊・不育治療助成事業のチラシを渡していますが、妊娠届出時に認知度アンケートを実施し、よく知っている・名前だけ知っていると回答した人は44人で44.9%と、令和5年度から減少しました。しかし、令和6年度の不妊治療申請件数は29件、不育治療申請件数は1件と令和5年度の不妊治療申請件数19件から大幅に増加しており、必要なかたへの制度の認知度は向上していると考えられます。 令和6年度に不妊・不育治療費助成申請者29人のうち15人が妊娠されました。 【事業費（決算額：R06）】 ・不妊不育治療費助成事業：1,689千円	A	【評価の理由・根拠】 申請状況は前年より大幅に増加しており、助成が必要なかたへの制度の認知度が向上していると考えられるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 晩婚化や出産年齢の高年齢化のもと、令和4年度からの不妊治療の保険適用、県内外の不妊治療技術の向上なども追い風となり、今後申請者数は増加することが予測されます。少子化対策は喫緊の課題であり、また不妊治療内容の高度化もあり、より一層の制度の充実が望まれていると考えられます。今後も制度が必要なかたへ制度が周知できるよう、広報、ホームページ、健診の場などで啓発するほか、個別に周知できるよう近隣の産婦人科でのチラシ配布を継続します。また、就学前までの子どもがいる転入者へ配布している資料に、一般不妊・不育治療助成事業のチラシの同封を継続します。 制度の認知度の把握のため、令和7年度も妊娠届出時のアンケートを継続し、認知度の定着を確認するために3歳児健康診査時にもアンケートを拡大して実施します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-3 高齢福祉	担当課
施策の展開方向	① 地域包括ケアシステムの構築	生き活き対策課
<p>●介護給付等対象サービスの充実を図るとともに、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策や生活支援サービスの充実などを目的に、地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。</p> <p>●認知症の高齢者が尊厳を持ち、地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。</p> <p>●安心して在宅で暮らすことができるよう、生活支援サービスが包括的、継続的に提供できるような地域での体制づくりやネットワークづくりを推進します。</p> <p>●町民自らが地域福祉の担い手であることを自覚し、地域の中で支援を必要とする人に目を配り、支え合い、助け合う地域づくりに努めます。</p> <p>●保健事業等と地域支援事業を一体的に実施し、町民の健康寿命の延伸を図ることで、介護認定者の急激な増加を招かないように努めます。</p>		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
傾聴ボランティア登録者数【人】	-	23 対前年増減→	22 -1	19 -3	18 -1	18 ±0			30
認知症サポーター登録者数【人】	-	1,361 対前年増減→	1,354 -7	1,418 +64	1,431 +13	1,478 +47			2,670
	-								

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組① 医療と介護のネットワークづくりのための意見交換会の推進</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 「生き活きSNS」では、事業所登録数は106箇所と据え置きで、令和6年度も引き続き情報提供や意見交換の場としてサイトを運用します。 また、スムーズな情報交換を行うためタブレット端末を導入し、情報交換ツールを用いた情報発信を行うための準備を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 各種研修案内などをSNS上に掲載し、ケアマネジャーや事業所と情報共有を行いました。 また、令和7年度より「生き活きSNS」から情報交換ツールを用いた情報発信に切り替えるための準備としてタブレット端末の導入を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・在宅医療・介護連携推進事業：508千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 KPIである傾聴ボランティアの登録者数については横ばいでしたが、令和6年度の実績として延べ27回の傾聴活動を実施しました。認知症サポーターの登録者数については、令和6年12月と令和7年2月に認知症サポーター養成講座を実施し、47名増加しました。 また、各事業所のシステム環境の差異などによりスムーズな連携ができていないことが長年の課題となっていました。タブレット端末を導入したことで課題解決に向けた準備が進められたと考えるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 令和7年度から情報交換ツールを本格的に導入します。共有すべき事項があれば随時共有を行い、研修の案内や出欠確認などスムーズな連携ができるよう運用していきます。</p>
<p>取組② 地域ケア会議の推進</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 ケアマネジャーが担当している事例をもとに多職種のかたから意見をいただき、自立支援に向けた個別ケースの支援・困難事例の解決・地域課題の発見に向けて定期的に検討を行っています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 定例的な会議を予定どおり3回開催し、合計9事例の検討を多職種のかたと行いました。多職種のかたと困難事例の解決に向けた検討をしたことで、ケアマネジャーに多角的なアドバイスを行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・地域ケア会議推進事業：35千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 定期的に地域ケア会議を開催したことで、ケアマネジャーが抱えている困難事例の解決に向けた一助になったと考えるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 介護サービス利用者のケアプランをもとに、自立支援に向けて医師、薬剤師、理学療法士などの多職種で支援内容の検討・共有を行います。困難事例の解決・地域課題の発見に向けて定期的に地域ケア会議を開催し、戦略的に活用できるよう取り組んでいきます。また、急を要する困難事例については、随時地域ケア会議を開催します。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-3 高齢福祉	担当課
施策の展開方向	<p>① 地域包括ケアシステムの構築</p> <p>●介護給付等対象サービスの充実を図るとともに、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策や生活支援サービスの充実などを目的に、地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。 ●認知症の高齢者が尊厳を持ち、地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。 ●安心して在宅で暮らすことができるよう、生活支援サービスが包括的、継続的に提供できるような地域での体制づくりやネットワークづくりを推進します。 ●町民自らが地域福祉の担い手であることを自覚し、地域の中で支援を必要とする人に目を配り、支え合い、助け合う地域づくりに努めます。 ●保健事業等と地域支援事業を一体的に実施し、町民の健康寿命の延伸を図ることで、介護認定者の急激な増加を招かないように努めます。</p>	健康推進課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
	-								
	-								
	-								

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組① 保健事業等と介護予防の一体化事業の実施</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 急激な高齢化を背景に、介護認定者の急激な増加を招かないよう、保健事業などと地域支援事業を一体的に実施し、町民の健康寿命の延伸に取り組みます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 高齢者が地域で健康的な生活を送れるよう高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するために、奈良県後期高齢者医療広域連合からの委託に基づき、高齢者の健康の保持増進のために事業を実施しました。ハイリスクアプローチでは、健康状態不明者対策として、健診未受診者159名に大きめのカラー印刷のはがきで受診勧奨を実施しました。 さらに、健康状態不明者の絞り込みを行い、12件の訪問を実施し、うち6件で健康状態の把握、及び本人の状態に応じた保健指導を行いました。また、低栄養のリスクのあるかたには、52名にリーフレットを送付し低栄養予防の啓発を行いました。ポピュレーションアプローチでは、7地区の通いの場へ合計11回出向いて、健康運動指導士よりフレイル予防などの健康講座を実施しました。7地区の75歳以上人口に対する参加率は9.3%でした。また、希望者には保健師により血圧測定などを実施し、うち8名に血圧の測定結果などをともに簡易な健康相談を実施しました。また、食育SAT（体験型食事栄養教育システム）を活用して食事バランス診断を実施し、低栄養リスクのある7名のかたに栄養相談及び後日に電話で食事バランスの確認や相談を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・保健事業等と介護予防の一体化事業：6,006千円</p>	B	<p>【評価の理由・根拠】 通いの場では、令和5年度は4地区での開催であったが、令和6年度は7地区と広がりを見せています。また、もともと地区にある通いの場を利用することで、住民が参加しやすいよう計画している事業ではありますが、令和6年度の参加率は9.3%でした。希望者には、併せて保健師からの簡易な健康相談も実施したことで、普段自分から健康相談を申し込まないかたに対してもアウトリーチでの健康相談を実施できました。食育SATでは、住民が自身で栄養バランスを意識できる働きかけを行い、低栄養状態の早期発見・指導につながったと考えます。以上のことより評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 通いの場は高齢者にとって重要な交流の場となっており、高齢者の健康の保持増進ため、今後も持続的な事業の推進をしていきます。また、リピーターの住民以外にも、現在通いの場に参加されていない地区住民への周知方法を検討します。低栄養リスクや健康状態不明者など地域で健康状態に不安のあるかたにも、引き続き、必要な際は訪問を行い、イベントやアウトリーチでの相談しやすい場を設けていきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-3 高齢福祉	担当課
	② 高齢者の生きがいづくり	福祉課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●シルバー人材センターの支援に努めます。 ●シルバークラブの多様な活動や組織づくりを支援します。 ●高齢者の交流、健康づくりなどの拠点となる保健福祉センターの機能と運営の充実に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
シルバー人材センター会員数【人】	-	288 対前年増減→	291 +3	261 -30	255 -6	250 -5			320
シルバークラブ設置地区数【地区】	-	18 対前年増減→	18 ±0	18 ±0	18 ±0	18 ±0			22
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① シルバー人材センター・シルバークラブの活動支援		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 高齢者などへの就業機会の提供による活力ある地域づくりを実現するため上牧町シルバー人材センターの活動支援を行います。 シルバークラブへの活動支援により高齢者同士の交流活動や健康推進活動を支援します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 ○シルバー人材センター 令和5年度と比較し会員数が5名減少となりましたが、会員増強を図るため、入会説明会を17回開催し、合計33名が参加されました。「草刈り」「2000年会館の清掃・管理」「ほほ笑みサロン片岡の管理」などの事業を委託しました。 ○シルバークラブ 事務局運営に参加し、高齢者の生きがいづくり、つながり活動の支援を継続しました。 会員の交流促進、活動の場づくりのため、「グランドゴルフ大会」「ウォークラリー大会」「さわやか旅行」「カラオケ歌謡発表会」「フロアカーリング大会」といったイベントを企画・実施し、多くの会員が活動に参加されました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・シルバー人材センター運営支援等事業：13,950千円 ・シルバークラブ連合会運営支援事業：2,356千円</p>	<p>A</p> <p>【評価の理由・根拠】 ○シルバー人材センター 会員数は微減しておりますが、昨年度と同様の事業委託を継続して行うことができ、高齢者の就業機会の提供に努めることができたため、評価をAとしています。 ○シルバークラブ 連合会が中心となり自主的に、高齢者の活動・交流の場の確保のため多くのイベント開催を行うことができました。町も事務局として、会議やイベント開催の補助を行うことができたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 ○シルバー人材センター 今後も引き続き、「草刈り」などの業務委託を行い、高齢者の就業機会の提供に努めます。 ○シルバークラブ 会員同士が協力し、自らイベントの企画から開催までを行い、高齢者の活動の場づくりに貢献されている現状を維持できるよう、事務局として運営の補助を継続します。</p>	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-3 高齢福祉	担当課
	② 高齢者の生きがいづくり	生き活き対策課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●シルバー人材センターの支援に努めます。 ●シルバークラブの多様な活動や組織づくりを支援します。 ●高齢者の交流、健康づくりなどの拠点となる保健福祉センターの機能と運営の充実に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 高齢者の引きこもり対策 【取組の概要（背景・目的等）】 シルバークラブ友愛活動団体が実施する地域での見守り活動・文化活動・運動など、高齢者の「通いの場」をつくり、引きこもり防止を行う団体に助成を行っています。 【実施内容・成果（R06）】 友愛活動では令和5年度から4チーム増え、合計26チームが各地域で介護予防のための活動を行いました。令和6年度はスカットボールやフロアカーリングなどの運動やふれあい喫茶の開催など高齢者の通いの場を提供しました。 また、引き続き要配慮者への訪問活動や地域の見守り活動を実施し、地域での交流の場となりました。 【事業費（決算額：R06）】 ・シルバークラブ助成事業：1,465千円	A	【評価の理由・根拠】 高齢者に通いの場を提供でき、高齢者の引きこもり防止につながっていると考えるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 令和7年度も、高齢者同士のつながりや通いの場を充実できるように各種活動に協力し、高齢者の生きがいづくりができるよう事業を実施します。
		総合戦略 -

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-3 高齢福祉	担当課
	③ 介護予防の推進	生き活き対策課
施策の展開方向	●介護認定を受ける前の段階から要支援1、2程度まで継続して「介護予防・日常生活支援総合事業」を実施し、生活機能低下の予防に努めます。 ●住民参加型の「健康上牧21計画」による事業を推進します。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
地域体操教室数【教室】	-	13 対前年増減→	13 ±0	16 +3	15 -1	15 ±0			16
脳の健康教室参加延べ人数（年間）【人】	-	301 対前年増減→	463 +162	529 +66	634 +105	313 -321			800
ハッピーライフ教室参加延べ人数（年間）【人】	-	237 対前年増減→	232 -5	235 +3	259 +24	214 -45			260
要介護認定率【%】	-	17.2 対前年増減→	18.0 +0.8	18.6 +0.6	19.4 +0.8	20.5 +1.1			20.7

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 予防教室の継続／予防教室への参加呼びかけ 【取組の概要（背景・目的等）】 認知症予防及び認知症の進行をゆるやかにするために、楽習（簡単な読み書き・計算）を行う3か月間全12回の教室を実施します。 【実施内容・成果（R06）】 楽習に加え、体操・認知症予防レクリエーションを織り交ぜ様々な視点から認知症・介護予防を啓発しました。教室の実施にあたっては参加者のサポートをしていただくボランティアとして、15名のかたに協力いただきました。教室では、受講者同士やサポーターとの交流を楽しむ様子や、笑顔でレクリエーションに参加する姿が随所に見られました。 また、教室の最終回には参加されたかたからお手紙をいただき、「来年も教室を実施してほしい」といったお声もいただきました。 【事業費（決算額：R06）】 ・脳の健康教室事業：347千円	A	【評価の理由・根拠】 KPIである脳の健康教室参加延べ人数は減少となりましたが、会場確保の都合により3か月に教室を短縮したことが影響しています。 しかし、認知症予防と社会参加を促進させたことで介護予防の推進につながっていると考えるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 令和7年度については、引き続き認知症予防及び認知症の進行をゆるやかにするために、楽習や体操・認知症予防レクリエーションを行う6か月間全24回の教室を開催予定です。 令和6年度同様、ボランティアからの協力を得ながら、様々な視点から認知症・介護予防の啓発ができる予防教室の運営に取り組んでいきます。
取組② 地域体操教室の拡充 【取組の概要（背景・目的等）】 地域体操教室については、体操を通じて健康寿命を延伸することを目的に地域体操を実施します。 ハッピーライフ教室については、1クール全8回の運動習慣を身につけるための教室を合計2クール実施します。 【実施内容・成果（R06）】 地域体操教室については、養成講座を修了した指導者が中心となって、前年同様、全15か所の公民館などで週1回ストレッチなどを行いました。令和6年度から1か所増の12教室が住民主体の自主運営で開催しました。 また、地域体操教室の教室運営や運動指導を担う指導者を養成するための講座を4年ぶりに開講し、7名のかたを指導者として登録しました。 ハッピーライフ教室については、開眼片足立ち、5m歩行、握力を教室開始時と終了時にそれぞれ測定を行いました。結果、特に握力の項目については、67%のかたが教室開始時と終了時を比べ、維持・向上しており、参加者の筋力などが上昇傾向にあるものと考えられます。教室参加者の感想として、「参加した後は体が軽くなる」といった好評の声があり、満足度の高い教室となりました。 【事業費（決算額：R06）】 ・地域体操教室事業：971千円 ・運動習慣教室事業：683千円	A	【評価の理由・根拠】 KPIである地域体操教室数は昨年度と同数でした。また、ハッピーライフ教室参加延べ人数については2クールに短縮した中で多くのかたにご参加いただけ、高齢者が運動習慣を習得する一助になったと考えるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 地域体操教室については、令和7年度に指導者の能力アップとモチベーションアップを目的として、町外研修を実施する予定です。また、指導者が安定した教室運営や参加者の確保ができるよう必要に応じて広報などで周知を行います。 ハッピーライフ教室については、1クール全12回の教室を合計2クール実施します。1クールあたりの回数を4回増加し、参加者にさらに満足していただけるような教室運営を目指します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-3 高齢福祉	担当課
	④ 高齢者の生活支援	生き生き対策課
施策の展開方向	●適切な要介護（要支援）認定に努めるとともに、ケアプラン点検や介護事業所への指導強化により、介護給付費の適正化を図り、介護保険制度の安定的な運営に努めます。 ●介護が必要な状態になった場合、自らの意思でサービスを選択し、尊厳をもって生活を送ることができるよう、介護保険外サービスの充実もあわせて図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
生活支援サポーター登録者数【人】	-	23 対前年増減→	23 ±0	30 +7	34 +4	34 ±0			30
	-	対前年増減→							
	-	対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 安定した介護保険制度の運営 【取組の概要（背景・目的等）】 介護保険制度は、高齢者の介護を支える重要な制度ですが、高齢化の進展に伴い介護給付費の増大が懸念されています。そのため介護給付費の適正化を図ることで、介護給付費の増大を抑制し、持続可能な介護保険制度の構築を目指すことが重要です。利用者に対する適切な介護サービスを確保するとともに、不適切な給付について適正化を図っていきます。 【実施内容・成果（R06）】 介護給付費の適正化を図るため、要介護認定調査の確認や、ケアプランの点検、事業所への運営指導を行いました。要介護認定調査については、認定調査の統一性と質の向上を図るため、認定調査員に対し、5月に認定調査員研修を実施し、各事業所に認定調査員研修（e-ラーニング）教材の利用を促し、認定調査員の質の向上と平準化を図りました。また、認定調査の点検を全件実施しました。ケアプラン点検については、2事業所に対して40件の点検を行いました。また、各事業所が2か月～6か月に1回行う運営会議などに職員が参加し、事業所の状況を聞き取り、必要に応じて指導を行いました。 【事業費（決算額：R06）】 ・要介護認定事業費：10,584千円	A	【評価の理由・根拠】 介護給付費の適正化については、第9期介護保険事業計画にも掲げており、介護給付費の適正化主要3事業を中心に実施し、適正化について取り組んだため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 引き続き、要介護認定調査の全件チェックや、ケアプランの点検、事業所への運営指導の適正化主要3事業を中心に取り組みを実施する予定です。今後も適切なサービスの確保と、その結果としての費用の効率化を図り、介護保険制度への信頼を高め、安定した介護保険制度の運営に努めます。
取組② 介護保険外サービスの充実 【取組の概要（背景・目的等）】 利用登録されている利用者の要望に応じて、買い物代行やゴミ出し、簡単な草引きなど介護保険サービスでは賅えない日常の困りごとに対応します。 【実施内容・成果（R06）】 生活支援コーディネーターを配置し、19人の利用者に対して町民ボランティアである生活支援サポーターを派遣し、延べ170件の困りごと（草刈り、買い物代行、家具の移動など）に対応しました。生活支援サポーターの定期的な支援により地域生活を維持しているかたもおり、地域の高齢者にとって不可欠な活動となっています。 また、小地域ネットワークや各地区で実施しているサロン活動や会議への参加を通して、生活支援ニーズの発掘を行いました。 【事業費（決算額：R06）】 ・生活支援体制整備事業：1,370千円	A	【評価の理由・根拠】 KPIである生活支援サポーター登録者数は、昨年度と同数でしたが、高齢者のニーズに沿って、生活支援サービスを提供できたと考えられるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 高齢者が安心して地域での生活が継続できるよう引き続き生活支援サポーターを派遣し支援します。また、支援を必要とする高齢者への周知のため、広報への記事掲載やSNSを通じた活動の発信を行います。 高齢者のニーズに応じ、新たに人材確保が必要になった場合には生活支援サポーター養成講座を開催します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-4 子育て支援	担当課
	① 結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援	こども未来課
施策の展開方向	●結婚希望者が結婚できる支援体制を整備し、安心して子どもを産み育てることができるよう、結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援サービスの充実を図ります。 ●出産や子育てにおける不安・悩み・ストレスを抱える親の精神的負担を軽減・解消できるような環境づくりとコミュニケーションの充実に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
出会い結婚応援事業による成婚者数（累計）【組】	○	4 対前年増減→	5 +1	7 +2	9 +2	14 +5			15
プレパママ教室参加割合【%】	○	31.5 対前年増減→	21.1 -10.4	28.0 +6.9	29.4 +1.4	19.5 -9.9			30.0
赤ちゃん訪問実施率【%】	○	98.0 対前年増減→	94.3 -3.7	95.3 +1.0	100.0 +4.7	100.0 ±0			100
母子健康手帳アプリ登録数【人】	-	86 対前年増減→	107 +21	126 +19	68 -58	116 +48			130

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 出会い・結婚応援事業の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町で結婚を希望される独身のかたを対象に出会いの場や情報を提供します。 【実施内容・成果（R06）】 ①婚活イベントの開催（2回開催、参加者：男17名・女12名） 結婚を希望する男女に出会いの場として参加体験型の婚活イベントを開催しました。イベント参加者にはフォローアップを行い、カップル成立の有無は関係なく希望者に対し、サポーターが相談に乗り、希望者には結婚希望登録制度への登録を勧め、継続した支援を行いました。 ②個別相談会の開催（12回、定員各4組） 結婚を希望する男女及びその親族に対して個別の相談会を毎月1回開催しました。 これらのサポーターの活動により、令和6年度は5組が成婚となりました。 【事業費（決算額：R06）】 ・出会い・結婚・子育て応援事業：720千円	A	【評価の理由・根拠】 着実に成婚者数の実績値が増加しており希望に沿った結婚支援ができていると考えるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、非常利活動法人かんまきマリッジサポート赤い糸として活動するマリッジサポーターとともに、結婚を希望する男女に対してそれぞれにあった結婚につなげる支援を進めていきます。
取組② プレパママ教室の開催 【取組の概要（背景・目的等）】 妊娠届出時にプレパママ教室への参加の勧奨を行います。 【実施内容・成果（R06）】 プレパママ教室を月1回開催（年12回）開催しました。 参加者は令和6年度実績、実人数31名（妊婦17名、夫14名）・延べ人数56名（妊婦32名、夫24名）です。 経年実績（延べ人数）としては、47名（R元）、77名（R2）、72名（R3）、64名（R4）、65名（R5）です。 参加者満足度は全教室の平均4.9（5段階評価）でした。 【事業費（決算額：R06）】 ・プレパママ教室事業：30千円	A	【評価の理由・根拠】 出産病院で産前教室が再開されたことや経産婦のかたがいたため、令和5年度より参加者割合は減少しましたが、参加者の満足度は令和5年度と同様に高い評価が得られているため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も継続してアンケートを実施し、プレパママ教室の満足度やニーズを把握し、視覚教材などの媒体を使用することで、より満足度の高い教室を目指していきたいと思います。 妊娠届出時の面談にて教室の勧奨を行うとともに、ホームページ及び子育てモバイルでの周知を図ります。広報では参加者の感想を掲載します。 プレパママ教室を月1回開催します。 A日程：妊婦体験や沐浴体験、家事育児の見える化ワークなど B日程：分娩の話、栄養士のお話など C日程：産後の話、育児体験、母乳育児など

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組③ 子育て世代への訪問型個別支援の拡充</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 おおむね生後3か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供などを行い、養育環境などの把握や助言を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は、80件（延べ86件）赤ちゃん訪問を実施しました。実施率100%でした。 また、訪問後も支援が必要な家庭は、地区担当保健師へ支援をつなぐとともに、母子保健事業会議で情報共有を図りました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・赤ちゃん訪問事業：256千円</p>	<p>A</p>	<p>総合戦略 基本目標.1</p> <p>【評価の理由・根拠】 訪問対象80件のうち、全ての家庭へ赤ちゃん訪問を実施することができたので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 出産後は全戸赤ちゃん訪問を実施し、新生児の発育などの確認や育児など全般に指導・助言をし、子育てに関する情報提供を引き続き行います。 また、アンケートにて事業満足度を評価します。</p>
<p>取組④ 子育て支援情報の発信</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 赤ちゃん訪問時や上牧町ホームページ、チラシなどにより「かんまき子育て応援アプリ」の紹介を行い、登録者の増加に努めます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 子育てに関する情報配信として、上牧町内の子育て情報やイベント、奈良県内の取組、児童虐待啓発、医療や健康に関する情報など、令和6年度は合計27回の配信を行いました。 成長の記録を入力し電子化することにより、わかりやすく一目でわかるようにする機能やプレバママ教室や乳幼児相談、離乳食教室など、年間を通した上牧町の取組を常時掲載することにより、住民がアプローチしやすい環境を整えました。 乳幼児健康診査や予防接種の案内を事前に電子メールやアプリを通して通知することにより、受診忘れを予防でき、予定を立てて子育てができるよう支援を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・子育てモバイルシステム情報配信サービス事業：264千円</p>	<p>A</p>	<p>総合戦略 -</p> <p>【評価の理由・根拠】 令和5年度のリニューアル時、会員登録人数はリセットされましたが、チラシを広報へ折り込みによる全戸配布、赤ちゃん訪問時やベガサフェスタでの周知、上牧町ホームページへの掲載により昨年度と比較して登録者数の増加になったので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き子育てに関する情報や上牧町の子育てに関する取組や健診・予防接種などの案内を行い、アプリを介して子育て支援を進めて行きます。 登録者を増やすために、町内の保育所や幼稚園及び学童保育でのポスターの掲示、チラシの全戸配布も昨年度に引き続き行います。</p>
<p>取組⑤ 母子健康手帳発行時の助産師等による面接</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 来庁者の重複を避け、子育て世代包括支援センター職員が確実に面接を行えるように妊娠届出を予約制で実施します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 子育て世代包括支援センターが妊娠届出時に全件面接を行うことができました。妊娠届出件数87件で、外国語の母子健康手帳の交付が1件ありました。多胎妊娠の届出は3件あり、親子健康手帳（母子健康手帳）に加えてふたご手帖も配布しました。 夫が妊娠届を提出したかたが1件、実母が妊娠届を提出したかたが1件ありましたが、後日妊婦と電話面談を行いました。面談は20分～30分程度かけて、心身の状態や家族状況、支援者の有無など聞き取りを行っています。その結果、支援が必要と判断した妊婦は要支援とし、地区担当保健師と情報共有を行い妊娠中から切れ目のない継続した支援を行っています。 また、妊娠届出時に地区担当保健師を紹介していますが、不在時はプレバママ教室などで会う機会があれば紹介し、顔の見える関係を作っています。</p> <p>妊娠届予約率 75.9% 【参考】令和3年度：54.1%、令和4年度：55.9%、令和5年度：88.2%</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・母子健康手帳発行にかかる事業：164千円</p>	<p>A</p>	<p>総合戦略 -</p> <p>【評価の理由・根拠】 妊娠届予約率は、前年度より低下していますが、予約なしで妊娠届に来所された場合においても他の来庁者の重複がなければ面談を実施しています。また、面談は全件実施することができているため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も妊娠届出の予約制を継続していきます。 多胎の妊娠届出時は双胎に特化した「ふたご手帳」も一緒に配布し、情報提供を行います。 外国人の妊婦が届出にいられた場合、日本語の親子健康手帳（母子健康手帳）、もしくは母国語併記の母子健康手帳のどちらかを選択してもらいます。 妊娠期からの切れ目のない細やかな支援に向けて、地区担当の保健師と連携し、継続した訪問・電話などの支援を行います。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-4 子育て支援	担当課
施策の展開方向	② 保育サービスの充実	こども未来課
<ul style="list-style-type: none"> ●乳幼児保育事業・障がい児保育事業の充実に努めます。 ●保護者の育児相談の充実に努めます。 ●保護者などが急用や疾病時においても、安心して子どもを預けられる環境の充実に努めます。 		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
預かり保育の延べ利用者数（年間）【人】	○	797 対前年増減→	888 +91	1,107 +219	945 -162	1,240 +295			1,100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 保護者が育児相談をしやすい環境づくり		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 第1保育所において、保護者が保育士に育児相談などをしやすい体制のさらなる拡充を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和4年度から実施している保育所ICT化事業において、保育所に設置している通信端末（パソコン1台、タブレット8台）を用いて、保護者からの育児相談などに応える体制の拡充を図りました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・保育所等ICT化推進事業：396千円（ランニングコスト）</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 令和4年度のシステム導入から2年が経過し、保護者のかたにとって連絡ツールとしてシステムの活用が図れているため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後もこども未来課をはじめ、各関係機関と連携しながら、保護者の悩みや不安の解消に努めます。</p>
取組② 幼稚園教諭や保育士等の専門性の充実に係る研修参加への支援		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 私立保育所では受入が難しい加配の必要な児童の受入を、可能な限り公立である第1保育所にて行っている背景があり、積極的な研修への参加により保育の専門性の充実に努めます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度においては、北葛城郡の保育協議会の研修をはじめ、様々な研修に参加しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・職員研修事業：142千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 積極的に奈良県や郡内で行われる研修会に参加しました。また研修後に職員間で共有し保育に活用ができていたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も研修に関する情報については、公立保育所に限らず、町内保育施設へ情報共有し、積極的に研修へ参加できる環境を整えます。</p>
取組③ 預かり保育事業の実施		総合戦略 基本目標.1
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 上牧幼稚園において、幼児の健全な発達を図るとともに、保護者の子育ての支援をすることを目的に預かり保育を実施しています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和5年度に比べ、入園児数が増加したことにより預かり保育の実利用者数も増加し、実績値が増加しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・一時預かり事業：1,227千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 令和6年度の預かり保育の延べ利用者数が、目標値を上回ったため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も担当保育士、園長と連携しながら、利用希望者全員を受け入れる体制を維持していきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-4 子育て支援	担当課
	③ 子育て環境の充実	こども未来課
施策の展開方向	<p>●子育てに関する情報交換拠点の整備や未就園児の交流機会の拡充、地域住民同士で助け合いながら子育てする体制を構築するなど、町全体はもちろん、地域ぐるみでの子育て支援の推進を図り、安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備を図ります。</p> <p>●子どもや子育てに関する相談窓口に多様な専門職を配置することで、柔軟かつ幅広い相談に対応します。</p> <p>●要保護児童対策地域協議会をはじめとする関係機関と連携し、要保護児童の早期発見や適切な保護、ヤングケアラーへの支援など、子どもを守るための支援の充実を図ります。</p>	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
情報交換拠点（つどいの広場・おひさま広場）の利用者満足度【%】	○	-	92.7	96.0	93.1	91.1			80.0
		対前年増減→	+92.7	+3.3	-2.9	-2.0			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組① 情報交換拠点の充実</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 つどいの広場は乳幼児及び保護者が相互に交流を行う場を提供し、子育てについての相談・情報の提供・助言その他の支援を行い、子どもの健やかな育ちを推進し、保護者が安心して育児できることを目的としています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 2000年会館で「おひさま広場」「サロンぼけっと」を、ラスパ西大和内のささゆりルームで「サロンぼけっと」を実施しました。 「おひさま広場」では年齢別のクラスに分けて、ふれあい遊びや誕生日会などを実施し、子どもが同年代の保護者同士で交流できる場を提供しました。 「サロンぼけっと」では、小さい赤ちゃんが寝たままでも遊べるおもちゃや就学前の子どもが体を使って遊べるおもちゃなどが置いてあるので、きょうだいでも楽しめる環境を提供することができました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・つどいの広場事業：4,540千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 利用者満足度は91.1%であり、目標値を上回ることができています。また、アンケートでは「楽しく通えている」「友達とたくさん遊べる」などの意見があり、満足度が高いと考えられるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 共働き世帯の増加による保育所入所者の増加に伴い、年々参加者は減少しています。 また、参加する子どもも低年齢化していますが、少子化・核家族化の進行、ネットやSNSが普及する社会で乳幼児をもつ保護者が孤立しないようにすることは必要だと考えられます。保護者同士が気軽に交流でき、相談できる環境を作ることによって子育ての不安を軽減し、子どもの健やかな成長と保護者がこれからは上牧町で子育てをしていきたいと思ってもらえるような町づくりを推進していきます。</p>
<p>取組② 包括的な相談体制及び支援体制の充実</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 近年地域のつながりが希薄になり、地域ぐるみで子育てを支え、子どもが安心して生活できる環境づくりが必要となっています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 児童虐待の相談対応件数は毎年増加傾向にあり、上牧町要保護児童対策地域協議会での進行管理ケースも昨年度と比較して増えました。子ども家庭総合支援拠点を中心として所属先や関係機関及び児童相談所との連携を密にしケース対応をしました。 また、児童虐待はどの家庭にも起こりうる問題として、早期発見や防止策として相談や支援に積極的に取り組みました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・要保護児童対策地域協議会関係事業：39千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 上牧町要保護児童対策地域協議会 実務者会議（年3回実施）の開催により、都度ケースの見直しを行うとともに、顔の見える関係性の構築、相談や情報提供をしやすい環境作りをし、各関係機関との連携強化に努めることができたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 虐待の早期発見とその家庭への支援が重要です。子どもの安心・安全を確保するため、各関係機関との関係性を保ち、虐待の早期発見と予防に努めます。 また、支援が必要な家庭への相談支援体制の充実を目指し、迅速かつ適切な対応を今後も行っていきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-5 障がい者（児）福祉	担当課
	① 共生社会の実現に向けた障がい福祉の充実と障がい者の自立支援	福祉課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●障がい者に関わるあらゆる障壁を取り除き、障がい者が自主的に生活し、社会活動へ参加できるよう支援します。 ●障がい者の自立と主体性の確立を目指し、その能力が十分に発揮できるよう施策展開に努めます。 ●利用者のニーズや障がいの特性や程度に応じて、適切なサービスが公平に提供できるように支援の充実を図ります。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
地域活動支援センター利用登録者数（年間）【人】	-	12 対前年増減→	8 -4	10 +2	11 +1	11 ±0			15
福祉施設から一般就労への移行者数（累計）【人】	-	7 対前年増減→	10 +3	17 +7	26 +9	29 +3			40
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 地域生活支援事業等の充実 【取組の概要（背景・目的等）】 障がい者などの地域生活を支援するため、障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の充実を図ります。 【実施内容・成果（R06）】 ・障害理解促進啓発事業として住民講座の開催（西和7町合同開催） 参加：72人（令和5年度：59人） 内容：「精神障害者ってなんだろう」講座 ・自発的活動支援事業として当事者やその家族のための障害福祉サービスについての講座の開催（西和7町合同開催） 参加：35人（令和5年度27人） 発足している西和7町精神障がい者の当事者会への支援については、活動場所の提供などの支援を継続しました。 ・手話通訳者窓口設置事業 延利用人数：218人（令和5年度：135人） ※令和6年度から週1回から週2回の設置にしました。 活動場所の提供など、ろう者が集うサロン活動への支援を継続しました。 ・地域活動支援センターの利用促進について、西和7町計画相談連絡会において計画相談員への周知を行いました。 ・重度身体障害者訪問入浴サービス事業の 利用実績：1人（令和5年度：0人） ・福祉タクシー券助成事業 利用実人数：351人（令和5年度：347人） 協力タクシー事業者数：25社（令和5年度：20社） 【事業費（決算額：R06）】 ・障害理解促進啓発事業：20千円 ・自発的活動支援事業：19千円 ・手話通訳者窓口設置事業：452千円 ・重度身体障害者訪問入浴サービス事業：63千円 ・福祉タクシー券助成事業：2,720千円	A	【評価の理由・根拠】 障害理解促進啓発事業や自発的活動支援事業などチラシ配布や広報紙への掲載による周知活動の結果、令和5年より参加人数が増加したため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 障害理解促進啓発事業については、西和7町共同実施の住民講座を継続しつつ、上牧町単独で講師を招いた講演会を実施します。 西和7町精神障がい者の当事者会やろう者が集うサロン活動への活動場所の提供など支援を継続します。 地域活動支援センターを周知し、引きこもりのかたなどへの支援につながるよう取組を進めます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組② 障害者総合支援事業の実施</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 障害者総合支援法に基づく市町村障がい福祉計画の成果目標の達成に向けて取組を推進します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 ◎第7期障がい福祉計画に掲げる成果目標に係る主な成果 ・地域生活支援拠点（緊急時受入・一人暮らし体験）設置に向けて、協力的意向のある法人との協議、西和7町障害者等支援協議会くらし部会での話し合いなど令和8年度からの事業開始に向け取組を進めました。また滋賀県自立支援協議会事務局長を招き、西和圏域の事業所の職員向けに「地域生活支援拠点勉強会」を開催しました。参加者数：30人 ・児童発達支援センターの広域設置や、医療的ケア児支援の協議など障がい児支援の一層の充実を図るため、西和7町障害者等支援協議会で「こども部会」を立ち上げるべく協議・準備を行いました。 ・保健医療福祉関係者が集うくらし部会にて、地域移行促進に向けた協議を5回行いました。（計画値 2回以上/年） ・職員の資質向上を図るため都道府県が実施する研修に福祉課員延7人が参加しました。（計画値 6人/年） ・就労系サービス利用者3人（前年度9人）が一般就労へ移行しました。（就労継続A型から1人 就労継続支援B型から1人 就労移行支援から1人）（計画値 令和8年度末までに8人以上）</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・地域自立支援協議会運営支援事業：58千円</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 第7期障がい福祉計画に掲げている成果目標について計画値（目標）を達成しているため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 児童発達支援センター広域設置や医療的ケア児支援のための関係機関が集う協議の場の設置について、西和7町障害者等支援協議会の中であらたに「こども部会」を発足させ協議を進めます。 西和7町障害者等支援協議会くらし部会の中で、地域生活支援拠点（緊急時受入・一人暮らし体験）事業や保健医療福祉関係者による精神保健に課題を抱える困難ケースへの対応など協議を進めます。</p>
<p>取組③ 障がい福祉サービスによる支援体制の確保</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 当事者の意向に寄り添った相談支援に努めながら障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス提供体制の充実を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 ○障がい者福祉サービス支給決定者数（令和6年度末時点）は、253人（前年比104%）となりました。</p> <p>○障がい者福祉サービスの実利用者数（R5.3月～R6.2月） ・訪問系サービス 102人（前年比107%） ・日中活動系サービス 230人（前年比108%） ・施設入所サービス 23人（前年比105%） ・グループホーム 34人（前年比120%）</p> <p>○障がい児福祉サービス支給決定者数（令和6年度末時点）は、143人（前年比107%）となりました。</p> <p>○障がい児福祉サービスの実利用者数（R5.3月～R6.2月） ・児童発達支援（未就学児童の通所）54人（前年比110%） ・放課後等デイサービス（就学児童の通所）97人（前年比104%）</p> <p>○西和7町共同で委託している相談支援事業者との協働のもと、地域の計画相談員との連携強化を図るための西和7町計画相談連絡会は計4回開催し、個別困難ケースの事例検討や、現行制度に関する情報共有などを行いました。</p> <p>○障害者総合支援法に係るサービスの案内パンフレットについて、内容の刷新を図りました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・障害者自立支援給付事業：581,017千円 ・障害児施設給付事業：183,987千円</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 西和7町計画相談連絡会を計4回開催し、障害福祉サービスの要となる地域の計画相談員の人材育成に寄与する取組を進めることができましたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 計画相談員との連携強化を図るため連絡会の開催を継続し、地域の計画相談員のスキルアップや増加を目指し、西和圏域の相談支援体制の強化に取り組めます。 精神保健福祉士を配置し、部局間や関係機関との連携強化に取り組み、精神保健に課題を抱える住民のかたへの相談支援の充実を図ります。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-5 障がい者（児）福祉	担当課
施策の展開方向	② 障がい者虐待の防止と権利擁護の推進	福祉課
	●障がい者の権利擁護に係る法令を遵守し、障がい者の保護と自立の支援、養護者に対する支援を実施します。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
西和7町障害者等支援協議会人権施策部当事者向け勉強会の参加者数（年間）【人】	-	-	-	-	-	-	-	-	60
		対前年増減→	±0	±0	±0	±0			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修への参加 【取組の概要（背景・目的等）】 研修などに参加し職員のスキルアップを図りながら、障がい者虐待への対応能力の向上や権利擁護を推進します。 【実施内容・成果（R06）】 「令和6年度奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修 公開講座」に参加し、障がい者虐待に関する知識や対応手法などを学び、課内で共有しました。 場所：奈良県産業会館 内容：「『大橋製作所事件』を振り返る」「障害者福祉施設での虐待対応の経験と権利擁護について」 権利擁護を推進させる取組として障がい福祉の関係団体で構成する西和7町障害者等支援協議会のイベントの中で、兵庫県立大学の教授を講師に招き、共生社会のまちづくりをテーマとした講演会を地域住民向けに実施しました。（会場：上牧町 来場者数：131人 令和5年度 123人） 【事業費（決算額：R06）】 ・地域自立支援協議会運営支援事業：58千円	A	【評価の理由・根拠】 奈良県が主催する障害者虐待研修に参加し、虐待対応のスキル向上に努め、権利擁護推進に係るイベントでは、チラシ配布や広報紙、関係機関への周知活動の結果、令和5年度より参加人数を募ることができたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 令和7年度奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修に参加し、警察や児童相談所など関係機関との連携を強化しながら、障がい者虐待の未然防止及び虐待が発生した際の早期発見、迅速な対応ができるよう課員への理解促進と対応スキルの向上を図ります。
取組② 障がい者虐待防止の啓発 【取組の概要（背景・目的等）】 障がい者虐待防止に向けて、住民や事業所、関係機関への周知啓発活動を推進します。 【実施内容・成果（R06）】 上牧町における障がい者虐待の認定は0件でしたが、他市町村が所管する障害サービス事業所における虐待事案など、奈良県警や県障害福祉課などと連携して対応しました。 障害者週間期間中に、町立図書館にて障がい者虐待に係る書籍やチラシなど展示コーナーに設置し啓発しました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の根拠・理由】 障害サービス事業所における虐待事案など関係機関と密に連携して対応し、令和5年度に引き続き、障害者週間期間中の啓発活動を実施できたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 障害者週間に町立図書館における展示コーナー設置の取組を継続するとともに、障がい者虐待に関する啓発物の窓口設置などで周知を行い、啓発強化に努めます。 障害サービス事業所における虐待防止への対応について、県障害福祉課と情報共有をしながら、合同調査など協働の取組を進めていきます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組③ 西和7町障害者等支援協議会人権施策部会当事者向け勉強会の開催		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 当事者に向けた権利擁護に関する啓発を行い権利擁護の一層の推進を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 西和7町障害者等支援協議会人権施策部会当事者向け勉強会は、近年新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止としていた経緯があり、代替の取組として、人権施策部会が中心となり、「西和7町合理的配慮事例集」作成に関する取組を行っています。令和6年度は計2回の会議を開催し、事例集完成に向けた協議を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・地域自立支援協議会運営支援事業：58千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 当事者向け勉強会の代替の事業である西和7町合理的配慮事例集作成の取組を進めることができたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 合理的配慮の事例集について、識者の意見聴取を行ったうえで完成を目指し、公共施設などに幅広く配布し啓発活動を推進します。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-6 地域福祉	担当課
	① 住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり	福祉課
施策の展開方向	<p>●自治会等の小地域を基盤として、地域の中で援護が必要な方々の生活を見守り、支え合う社会づくりを図るため、町民、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、福祉施設、NP0※2法人等が連携できる環境づくりを支援します。</p> <p>●孤独死・孤立死の防止をはじめ、あらゆる世代が安全に安心して暮らすことのできる環境を整えるため、地域と連携し、見守り体制の強化を図ります。</p>	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
上牧町地域見守りネットワーク事業登録事業所数【事業所】	-	11 対前年増減→	11 ±0	11 ±0	12 +1	12 ±0			23
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組① 小地域ネットワーク活動への支援</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 地域福祉の理念のもと住民の社会的孤立を防ぐため、社会福祉協議会と協働し小地域ネットワーク活動支援の充実を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 小地域ネットワーク活動をしている地区数は、令和5年度と変わらず15地区です。活動内容としては、月1回開催のネットワーク連絡会にて各地区の活動報告や情報共有の実施、各地区ネットワークの新人や若い世代を含めた中堅の会員による意見交換の実施、各地区のネットワークによる季節の行事などのイベントを開催し、地域における多世代交流の促進に努めました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 各地区の新人のかたや中堅のかたなどターゲットを絞り、意見交換・勉強会の機会を企画するなど、新たな試みを行うことができたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 24自治会区への小地域ネットワーク活動の拡大が目標であるため、新たな活動者の募集、特に若い世代の活動参画や活動地区の拡大が課題であると考えられます。多くのかたに参加してもらえよう、各地区の活動紹介や事業概要の説明など、周知・啓発を行います。</p>
<p>取組② 地域の見守り体制の強化</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 社会福祉法に基づく市町村地域福祉計画の取組を推進し、誰一人取り残さない地域社会の実現に向け、地域の見守り体制を強化します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 地域の課題について地域の活動者が集まり協議する「気になる会議」について、令和4・5年度に引き続き米山台地区にて6月、9月、12月、3月に計4回の開催につなげました。会議当日は自治会や老人会、民生委員・児童委員、小地域ネットワーク、社会福祉協議会、福祉課から関係者が集まり高齢化が進む地域の課題について活発に意見が交わされました。包括的な相談支援体制を強化していくため、福祉課、こども未来課、生き活き対策課、社会福祉協議会の事務担当者が集まり、「庁内連絡会議」を開催し、各課で抱える困難事例や複数の課題を重複して抱える事例などについて情報共有と今後の支援に対する協議を行いました。 上牧町地域見守りネットワーク事業登録事業所数は、令和5年度と同じく12団体となりました。 10月に開催した上牧町地域福祉計画及び地域福祉活動計画の検証委員会にて、計画の実施状況について報告し、計画の推進に向けて意見交換を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・上牧町地域福祉計画及び地域福祉活動計画検証事業：27千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 昨年と同様に「気になる会議」「庁内連絡会議」の開催を行い、地域及び庁内にて地域課題について協議を行うことができたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 「気になる会議」の開催地区拡充に向けて、社会福祉協議会との協働を継続し、興味を持っていただいた自治会に対しての事業説明を行っていきます。 庁内連絡会議の定期的な開催により、包括的な相談支援体制の強化に努め、また、支援の輪を広げていくために外部の相談機関の参画についても検討します。 見守りネットワーク事業の拡大に向けて、新聞社、配達業者などの訪問事業所やスーパー、コンビニなどの地域住民が頻繁に利用される事業所を中心に新規事業所登録を募ります。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-7 男女共同参画	担当課
施策の展開方向	① 男女共同参画についての理解の促進	社会教育課
<ul style="list-style-type: none"> ●男女の人権と性を尊重する教育の充実に努めます。 ●あらゆる教育の場において、人と人がお互いに人権を尊重し合い、思いやりの心を育む教育環境を推進します。 ●男女共同参画に関する広報、啓発を行うことにより、町民一人ひとりの意識の醸成、理解の促進を図ります。 		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
男女共同参画に関する講座・セミナー等の実施回数（年間）【回】	-	-	-	-	1	-			2
		対前年増減→	±0	±0	+1	-1			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
取組① 男女共同参画推進のための広報・啓発 【取組の概要（背景・目的等）】 性別に関わらず、仕事や家庭、地域活動などの様々な場面で活躍の機会が確保され、お互いを尊重し合いながらともに責任を担い、意欲に応じてあらゆる分野で活躍できるよう男女共同参画の理解促進を図ります。 【実施内容・成果（R06）】 男女共同参画週間（6月23日から6月29日）の期間中、上牧町立図書館に特設ブースを設け関係ポスターを掲示し、同時に男女共同参画の理念について理解を深められる図書の展示・貸出、男女共同参画に関する冊子やパンフレットなどの配布により啓発活動を行いました。併せて、アンケートを取り、意識把握に努めました。 また、国が発行している広報啓発パンフレットや奈良県女性センター講座のチラシをカウンターなどに常設し啓発活動に努めました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 実施内容・成果のとおり積極的に啓発活動を実施することができたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 男女共同参画週間（6月23日から6月29日）の期間中、上牧町立図書館の一角に関係ポスターの掲示や図書の展示などを行ったと同時に初めて来場者にアンケート調査を実施したことで、町民の意見を聞くことができました。 今後も上牧町立図書館の一角を利用して啓発活動を行い、啓発活動を行うことについてホームページなどに掲載し、町民に図書館への来場を呼びかけます。ポスターの掲示や書籍の展示及び貸出を行い、男女共同参画の理念について理解を深めるための啓発を引き続き行います。	-
取組② 男性・女性双方の視点に立った教育・学習の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 男女が生涯を通じて、個人の尊厳、男女平等の意識を高められるような学びの機会を提供します。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は、他の事業との兼ね合いもあり、講座については実施を見送ることとなりました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	B	【評価の理由・根拠】 学びの機会の提供について検討を行っていますが、KPIの講座の実施については、実施に至りませんでしたので、評価をBとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、男女共同参画計画策定の前段階として、男女平等の意識を高められるような学びの機会を提供していきたいと考えます。	-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-7 男女共同参画	担当課
	② 誰もが参画しやすく安心して暮らせる地域づくりの推進	社会教育課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画社会への指針となる男女共同参画計画を策定、推進します。 ●男女共同参画に対する理解を深めるため、研修等への参加に努めます。 ●各種審議会などまちづくりの意思決定の場への女性の参画を推進します。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
審議会等への女性委員登用率【%】	-	30.9 対前年増減→	30.4 -0.5	33.6 +3.2	32.6 -1.0	29.4 -3.2			40.0
男女共同参画計画の策定進捗率【%】	-	- 対前年増減→	- ±0	- ±0	- ±0	- ±0			100
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 男女共同参画計画の策定 【取組の概要（背景・目的等）】 男女の人権が尊重される社会を実現することが緊急かつ重要であることを考慮して、男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進するための計画の策定に取り組みます。 【実施内容・成果（R06）】 男女共同参画計画の策定に向けて県などの研修会への積極的な参加や情報収集を行いました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	B	【評価の理由・根拠】 策定方法について奈良県内市町村の実情を情報収集し、奈良県が作成した町村向け男女共同参画計画策定マニュアルを参考にし、策定方法を業者委託を行う範囲も含めて検討する必要があるため、評価をBとしています。 【今後の取組方針】 計画策定期限の延期により男女共同参画計画の策定は令和7年度以降に行うこととしています。近隣市町の資料を集めるなど、計画策定に向けての準備を進めていきます。
取組② 男女共同参画に関する研修等への参加 【取組の概要（背景・目的等）】 男女共同参画の基本理念を改めて学ぶとともに、喫緊のジェンダー課題に関する情報や取組事例、国の最新動向などについて学びます。また、参加者同士で情報交換を行い、実務に必要な知識とノウハウの習得を目指します。 【実施内容・成果（R06）】 奈良県主催の、困難な問題を抱える女性への支援のための調整会議に参加し、情報収集及び検討を行いました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	B	【評価の理由・根拠】 普段の何気ない光景(男だから、女だから…)を男女共同参画の視点からどう解決するべきであるのかを常に意識を持っていることが重要だと考えます。そのためにも研修に参加するなどしてより意識を高める必要があるため、評価をBとしています。 【今後の取組方針】 令和7年度も引き続き国や県の研修に積極的に参加します。また一般向けの国や県のセミナーを活用し、知識を深めていきます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組③ まちづくりへの女性参画体制の構築		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 性別に関わらず、仕事や家庭、地域活動などの様々な場面で活躍の機会が確保され、お互いを尊重し合いながらともに責任を担い、意欲に応じてあらゆる分野で活躍できるまちを目指します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 地方自治法（第202条の3）に基づく審議会などにおける女性委員の比率は調査、集計後に報告いたします。 まちづくりへの女性参画体制の構築に向けては、まず男女共同参画の策定を進めていくことにより構築体制を整えることとなると考えられるので、令和6年度は男女共同参画の策定に向けて、県などの研修会への積極的な参加や情報収集を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 まちづくりへの女性参画体制の構築については、各種委員会の委員に女性が登用され、意見の反映や活躍の機会を確保する必要があり、全庁をあげて取り組んでいます。 KPIで登用率40%を目標値にしておりますが、令和6年4月1日基準調査(最新)によりますと、本町は32.6%で、奈良県32.6%、県内市町村平均27.3%という状況であることから、一定の水準に達していると考えられますので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 まちづくりへの女性参画体制の構築に向けては、まず男女共同参画の計画策定を進めていくことにより構築体制を整えることとなると考えられるので、近隣市町の資料を集めるなど、計画策定に向けての準備を進めていきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-8 人権啓発・平和	担当課
施策の展開方向	① 鋭い人権感覚の醸成 ●行政、幼稚園、小・中学校、地域が連携し、積極的な人権意識の啓発を推進します。 ●町民集会や指導者研修会等の学習機会を確保し、人権意識の啓発に努めます。 ●広報紙、ホームページ等で人権尊重の精神を啓発していきます。	住民保険課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
差別をなくす強調月間・上牧町民集会の新規参加者数（累計）【人】	-	-	-	68	162	229			50
		対前年増減→	±0	+68	+94	+67			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

実施内容・成果 (DO)

評価 (CHECK)

今後の取組方針等 (ACTION)

取組①	継続的な人権意識啓発の実施	総合戦略	-
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 基本的な人権の尊重を基本理念とする人づくり、町づくりを進めるために、人権活動、人権啓発に取り組みます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 集会の開催（町民集会、ヒューマンフェスティバル）やイベント（ペガサスフェスタ）での啓発活動を実施しました。 人権相談を月1回全13回行いました。 これらの活動はHPや広報を通じて行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・町民集会事業：331千円 ・ヒューマンフェスティバル事業：71千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 人権相談を継続的にを行い、イベントで展示などを行い啓発活動を行ったため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 継続していくことが重要であると考えられるため、今後も継続できる施策を実施します。</p>	
取組②	町民集会の開催	総合戦略	-
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 差別をなくす強調月間上牧町民集会を実施し、一人ひとりの人権意識を高めるとともに、あらゆる人権問題の正しい理解と認識を深めるための講演会を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 7月13日にペガサスホールで町民集会を実施。162名の参加がありました。新規参加者は67名となりました。</p> <p>【事業費（R06）】 ・町民集会事業：331千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 目標値を達成しており、今年度だけで67名の新規参加があったため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き町民集会実施日を週末に設定するなど、広報・SNSを活用し一人でも参加者を増やすため周知していきます。</p>	
取組③	町内小・中学校への人権ポスターの作成依頼	総合戦略	-
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 小学校で人権啓発ポスターを募集することによって児童の人権に対する意識向上を図り、人権感覚醸成に取り組めます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 各小学校で人権啓発ポスターを募集することによって人権問題を考える機会の創出となりました。 （人権啓発ポスター：302点） また、人権啓発ポスターは町民に対する啓発を兼ねて7月に中央公民館で展示を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・人権啓発ポスター事業：70千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 人権ポスターの作成により、人権意識の向上を図り、ポスターの掲示により町民に対する啓発を行ったため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 継続して児童への人権啓発に努めるために同事業実施についても継続していきます。</p>	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

住民福祉

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	2-8 人権啓発・平和	担当課
施策の展開方向	② 平和に対する意識啓発の推進	秘書人事課
	●町民が平和の大切さを実感でき、平和に対する意識を高めるための啓発に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
平和祈念資料展の来場者数（年間）【人】	-	285 対前年増減→	184 -101	451 +267	535 +84	450 -85			300
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 平和祈念資料展等の啓発事業の充実 【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町が掲げる「非核・平和都市宣言のまち」推進の一環として、戦争の悲惨さを後世へと語り継ぐとともに、命の尊さを訴え、恒久平和を希求していきます。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は、「もう…あの悲涙は流すまい～語り継ぐ大阪大空襲～」という内容で実施しました。大阪大空襲に焦点をあて、大阪大空襲の概要や被害を受けた大阪の様子、戦時の市民の暮らしなどを、パネル30点や映像資料をピースおおさか（大阪国際平和センター）より借用し、紹介しました。 また平和祈念特別企画として、町職員がスタッフ・キャストをつとめる朗読劇を上演しました。朗読劇は大阪大空襲の映像資料や体験談をもとにピースおおさかの協力を得て実施しました。一般のかたや報道などを対象とした上演を2回実施したほか、全校登校日の平和学習として町内中学校の生徒を対象とした上演を1回実施し、来場者数は960人にのびりました。 イベントの周知については、報道機関による後援や町広報紙、県広報紙、ポスターの掲示、フライヤーの配架、ホームページ、町公式SNSで行いました。 【事業費（決算額：R06）】 ・平和祈念事業：984千円	A	【評価の理由・根拠】 上牧町が掲げる「非核・平和都市宣言のまち」推進の一環として、大阪大空襲やその被害をパネル資料や実物資料などを展示し、紹介する平和祈念資料展を開催し、また、平和祈念特別企画として、町職員による、大阪大空襲を題材とした朗読劇を上演し、戦争の悲惨さを後世へと語り継ぐとともに、命の尊さを訴え、恒久平和を希求することを、町住民など一般のかたや町立中学校の生徒などを対象に啓発できました。そのため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 終戦80年を迎える令和7年度は、「もう…あの悲涙は流すまい～ヒロシマ・ナガサキ戦争と原爆～」という内容で実施します。広島・長崎に投下された原爆に焦点をあて、資料パネルや映像資料など約30点を広島市より借用し、原爆の被害の凄まじさを紹介します。 8月上旬には朗読劇の上演を予定しており、地域住民など一般のかたを対象とした上演のほか、平和学習の一環として次代を担う町内中学校の生徒を対象に上演します。